

# 令和元年度 第1回 都島区区政会議 会議録

1 日時 令和元年6月17日（月）午後7時～午後8時55分

2 場所 都島区役所 3階会議室

## 3 出席者

（区政会議委員）

玉川委員・栗田委員・田矢委員・南委員・森本委員・小田切委員・江川委員・塚田委員・日野委員・半野委員・阪本委員・寺川委員

（市会議員）

八尾議員・岡田議員・大西議員

（府議会議員）

魚森議員

（都島区役所）

大畑区長・嶋村副区長・六車総務課長・西岡政策企画担当課長・金森まちづくり推進課長  
松井防災地域活性担当課長・小林窓口サービス課長・吉村保健福祉課長・三井こども教育担当課長  
坂下健康推進担当課長・谷川生活支援担当課長

## 4 議題

- (1) 専門部会からの報告
- (2) 30年度運営方針自己評価の総括
- (3) その他

## 5 会議次第

- (1) 開会（大畑区長挨拶）
- (2) 議事

### 【六車課長】

定刻になりましたので、ただいまより会議を始めてまいりたいと思います。

委員の皆様には、大変お忙しい中ご出席をいただきまして、どうもありがとうございます。

これより令和元年度第1回の区政会議を始めさせていただきます。

本日の進行を担当させていただきます総務課長の六車と申します。どうぞよろしく願いいたします。

それでは初めに、区長の大畑よりご挨拶をさせていただきます。

## 【大畑区長】

どうも改めまして、皆さん、こんばんは。区長の大畑でございます。この4月に、前任の林田区長にかわりまして就任させていただきました。きょう初めての方もいらっしゃるかと思いますので、改めまして、どうぞよろしく願いいたします。

まずは、本日、大変ご多用の中、委員の皆様には区政会議にご参加いただきまして本当にありがとうございます。

また、議員の皆様におかれましては、本当にお忙しい中、オブザーバーとしてお越しいただきまして本当にありがとうございます。

また、平素は市政、区政全般にわたりましてご理解、ご協力を賜り、まことにありがとうございます。

今回は私自身も初めての区政会議になります。今までの区政方針であります「安心のまち、人がつながるまち、明日に誇れるまち」に加えまして、私としましては、いつまでも住んでいたい、そしてまた、何か理由があつて他区に出られる、あるいは区を離れられる方がいらっしゃっても、ぜひまた戻ってきたいと、そんな区にしていけたらなというふうに思っております。ぜひ、幸せになれるまち都島区というのをキャッチフレーズに、目指していきたいというふうに考えております。

きょうは、今までの議論をまたご報告いただくとともに、またそれをまとめながら新しいアイデアも出していただいて、有意義な会議にさせていただければというふうに思っております。本日、長い時間になりますが、どうぞよろしく願いいたします。

私の挨拶とさせていただきます。

## 【六車課長】

失礼ながら、座って進行のほうを務めさせていただきます。

ここで、委員の皆様には会議の進行につきましてお願いがございます。議事録等の作成のため、事務局では会議の様子を録音、撮影をさせていただいております。また、本日の会議はインターネット配信を行っております。以上、ご了承賜りますようどうぞよろしく願いいたします。

それでは、定員数の確認をさせていただきます。本日の会議には、委員定数18名のうち11名の方がご出席をいただいておりますので、定足数を満たしておりますことをご報告いたします。

なお、塚田委員におかれましては、おくれてご出席をされると聞いております。また、辻上副議長、東谷委員、田中委員、吉川委員、岡委員、大森委員におかれましては、本日はご欠席の連絡をいただいております。よろしく願いいたします。

また、田矢委員におかれましては、本日、途中退席をされますことを伺っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

続きまして、資料の確認をさせていただきますが、本日の資料の差しかえがございます。資料2-1と資料2-3の2点でございます。机上に差しかえ分を準備させていただいております。

資料の確認、もう一度いたしますが、右肩に資料1と振っておりますA4縦の「専門部会からの報告」、右肩に資料2-1と振っておりますA4縦の「30年度運営方針自己評価の総括」、右肩に資料2-2と振っておりますA4縦の「平成30年度都島区運営方針」、右肩に資料2-3と振っておりますA4縦の「みやこじまレポート2018」、右

肩に資料3と振っておりますA4縦の「区政会議における意見への対応状況」。あと、机上のほうに封筒を置いておまして、平成30年度区政会議委員評価シート、区政会議に関するアンケート、返信用封筒となっております。以上が本日の資料となります。そろっておりますでしょうか。お持ちでない方はお配りをいたしますが、よろしいでしょうか。

続きまして、本日ご出席をいただいております議員の皆様をご紹介します。

大阪市会より八尾議員でございます。

**【八尾議員】**

よろしく申し上げます。

**【六車課長】**

岡田議員でございます。

**【岡田議員】**

よろしく申し上げます。

**【六車課長】**

大西議員でございます。

**【大西議員】**

よろしく申し上げます。

**【六車課長】**

大阪府議会より魚森議員でございます。

**【魚森議員】**

よろしく申し上げます。

**【六車課長】**

それでは、これより森本議長に議事運営をお願いいたします。よろしく願いいたします。

**【森本議長】**

皆さん、こんばんは。お疲れさまです。

昨日、警察官の事件がございまして、きょう犯人が捕まらなければ、学校関係、小学校、中学校、高校という形で、学校が休みということで、きょうのけさ5時半でしたか、逮捕という一報が入りまして、学校長のほうからも連絡ございました。本当によかったなということで、子どもらも安心して登校されたと思います。

そういったいろいろな部分に関して、防犯あるいは災害関係につきまして、区政を通じていろいろな意見を言っていただき、またそれに対して、区政の運営、そして区民が理解していただけるような、本当に、区役所を通じて、みんなが幸せで安心・安全なまちづくりが目指していけたらいいなという思いで今までやってきました。

今回は、区政会議委員、2年2期における最終の会議ということで、委員の皆様におかれましては、1期2年で終了される方、あるいは2期4年ということで携わっていただいた方、本当にありがとうございます。

また、議題3に関しまして、今までの議論の中を通じて、さまざまな意見交換を1人約2分程度でさせていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、議題のほうに入ります。

まず、議題1、専門部会からの報告についてということで、部会長の私、森本よりご説明いたします。

前回、教育部会の報告がございまして、ちょうど、日程関係のずれで、専門部会は次回の区政会議にて報告ということでさせていただきます。

今回は、健康・福祉部会で、地域ケア推進会議からの提言というのと、見守り座談会、生活支援体制の整備事業などについてということで、議論が行われました。さまざまな高齢者の問題等抱えております各地域におかれましても、非常に高齢者が多い、さまざまな障がい者の方、また子どものこと、たくさんございます。その中でピックアップさせていただいた内容について、皆さんのご意見を集めまして、今回、報告、説明とさせていただきます。

では、説明のほうは保健福祉のほうから、事務局のほうにお渡ししますので、よろしくお願いいたします。

#### 【吉村課長】

保健福祉課長の吉村と申します。どうぞよろしくお願いいたします。座って説明させていただきます。

資料1をごらんください。

平成30年度第2回健康・福祉部会は、3月7日に開催し、地域ケア推進会議からの提言、見守り座談会、生活支援体制整備事業について意見交換を行いました。

まず、1つ目の地域ケア推進会議では、都島区地域包括支援センター運営協議会から、認知症に関して不安や混乱があり、自分の状況がわからないまま他者の介入を拒んでしまう、高齢になるに従い、運動機能の低下とともに外出機会も減少し、地域との交流も減る、本人や家族に発達障がいや精神疾患があり、地域包括支援センターだけでは対応できないような複合的な課題のあるケースがふえているなどの提言がありました。

それに対して区役所から、困ったときにどこへ相談に行けばよいのか、認知症に関する相談窓口をより具体的に周知します、地域の方々と一緒に地域の集いの場の体制整備を進めます、各分野の相談支援機関が連携、情報共有できる体制を整備しますといった課題解決に向けての説明をいたしました。

委員の皆さんから出された主な意見としましては、地域の集いの場の体制整備に関しまして、高齢者の方々から集いの場に参加したいとの要望はあるが、キャパシティの問題やボランティアの問題などから、全ての方を受け入れることが難しい現状があるといったご意見がございました。

次に、2の見守り座談会では、都島区社会福祉協議会見守り相談室から、中野地域で発生しました孤立死をきっかけに地域の中で話し合いが持たれたこと、その中で、孤立死をどう防ぐかということも大事なことだが、それ以前に人と人とのつながりをつくっていくことのほうが重要であるなどの報告がありました。

委員の皆さんから出された主な意見としては、高齢者だけでなく若年者の孤立死もふえてきていると思う、孤立死を捉えて、地域と民生委員、区役所、社協、包括、消防、警察などが集まって話し合いの機会を持つのはよいこと、地域の中ではさまざまな活動がされている、区役所や警察などからそれぞれお願い事をされるが、地域の受け皿は1つしかない、担い手不足の問題もあり、地域でどこまでできるかには課題があるといったご意見がございました。

3つ目の生活支援体制整備事業では、都島区社会福祉協議会生活支援コーディネーターから、高齢化に伴い、ひとり暮らしの高齢者や高齢者夫婦のみの世帯など、生活支援が必要となる方がふえている。その中で、銭湯

を利用した居場所づくりの取り組みや、買い物弱者への支援として移動スーパー、とくし丸の取り組みについて説明を受けました。

委員の皆さんから出された主な意見としては、移動スーパー、とくし丸について、大きなスーパーができるよりも、品数は少なくても家の近くまで来てくれて買い物できるシステムはよい、区内でケアマネジャーをされていた方で地域の事情や高齢者のことをよく知る方が、とくし丸の販売パートナーをされていることがすごく大きなポイントといったご意見がございました。

そのほかに、提案という形で、今、問題になっております児童虐待の問題や高齢者虐待問題に関しまして、教育部会と健康・福祉部会の統一議案として、それぞれの部会で委員の皆さんに意見を出していただいて、この都島区の中から虐待を減らしていきたいといったご意見が出されました。

以上、健康・福祉部会の報告とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

**【森本議長】**

ありがとうございました。

ただいま、健康・福祉部会の第2回ということで内容の説明をさせていただきました。この内容につきまして、また、これ以外に高齢者に関して、あるいは子どものことでも結構です、ご意見、ご質問等がございましたら挙手のほうよろしくお願いいたします。

寺川委員、何かございませんか。すみません。

**【寺川委員】**

ちょっと質問といたしますか、今、ここにとくし丸の話……

**【森本議長】**

移動スーパー。

**【寺川委員】**

移動スーパーの話もあるんですけども、例えばとくし丸、僕もいろんなまちづくりで活用できないかなということいろいろ調べたりはしていたんですけども、最近、ウーバーイーツというか、新しい仕組みもいろいろ出てきている中で、つまり、買い物支援とか、それから見守り支援というのは、どうやら新しいフェーズに入ってきたような気もするんですが、そういう議論は部会の中では、テーマ出しというのか、議論をされているかちょっと伺ってよろしいでしょうか。

**【吉村課長】**

私、4月1日に着任しましたんで、そのときの話をはっきり聞いていないんですけども、とくし丸以外の話が出たというふうには伺ってはおりません。

**【森本議長】**

これ、実験的なもので、近くに、本当に必要なものというのか、そういったもので、そんな品数は多くはないんだけど、近くに、地域に行って、たくさんのお年寄りが、高齢者が買いに来ていただいて、こういったことがどんどん各地域で行われて、また、時間帯的なものも、ある程度この時間帯に来ますよということであれば、それに目がけて来られるということ。

ただ、問題なのが、出たのが、誰がするのかという話です、それがね。それは非常にいい取り組みなんだけ

れども、最終的には人の問題であって。今、今回されている方は、ケア関係の高齢者に携わっていた方で非常に密着している、中野の方ですか、非常に顔見知りになっているということで、すごい安心して買い物に来られているということ。

本当、これをどんどん普及していきたいんだけど、またそれには、地域によってできる地域とできない地域が出てくる、そういったことで、これから継続でどういうふうにしていったらいいのかということで、これからまず話がまだ進んで行われて、最終的には、この9地域、今、都島区、成り立っていますけれども、全てがそういう形でできたらいいなということで、前に今、進んでいる状況でございます。

ほか、ご意見ございませんでしょうか。

そしたら、阪本委員、何かございましたら。よろしくをお願いします。

**【阪本委員】**

私も、とくし丸、初めて聞きました。私は商店街のほうに所属しておりますので、昔はそういうことなく皆さんが買い物に来られたんですけども、この大阪市、京橋のあたりでこういうことがあるということに非常にびっくりしました。また、どんどん駅前は、スーパーとかマンション、いろいろと建てかえて新しくなりますけど、一步都島の外れへ行くと本当に一戸建てが更地になっていたりということがちょっと多く目立つようになりまして、本当に地方のことではないかと、京橋というか都島でも起こり得る買い物難民がいるんだなど、商店街のほうでも何かできないかと考えています。

**【森本議長】**

ありがとうございます。

ほか、ご意見等ございませんでしょうか。自分ところの地域はこういう状況でということ、何でも結構ですので、あればご意見のほうをお願いします。

では、なければ、後ほどまた、意見発表する機会がございますので、何かあればそのときにでも意見言っていたら結構です。

では、続きまして、議題2のほうの30年度運営方針自己評価の総括についてということで、事務局よりご説明のほうお願いいたします。

**【西岡課長】**

政策企画担当課長の西岡です。失礼ながら、座らせていただいて説明させていただきます。

議題2、30年度運営方針自己評価の総括について説明をさせていただきます。

まず、お手元にお配りさせていただきました30年度都島区区政会議委員評価シートをごらんいただきたく存じます。封筒の中に入っていたものです。

このシートは、30年度都島区運営方針、この後ご説明させていただきますが、これに対して区政会議の委員の皆様から直接評価をいただく様式となっております。会議終了後、シートの評価項目にご記入をいただき、7月12日までにご提出くださいますようお願いを申し上げます。後日提出される場合は、添付しております返信用封筒にてご返送いただきますようお願いいたします。

なお、同封しております都島区区政会議に関するアンケートですが、こちらは、昨年度と同様に、会議運営等について委員の皆様よりご意見をいただきたいと存じます。こちらのほうも同じく7月12日までご返送くださ

いますようお願いいたします。

大変お手数ではございますが、全体会議と所属されておられる部会それぞれの用紙にご記入をお願いいたします。

それでは、説明のほうに移らせていただきます。

資料2-1の30年度運営方針自己評価結果の総括をごらんください。

この資料は、資料2-2、30年度運営方針を要約させていただいた内容で、本日はこの資料2-1のほうを中心に説明をさせていただきたいと思っております。

また、区役所事業の全体像、また具体内容につきましては、資料2-3のみやこじまレポート2018をあわせてごらんいただきながらご確認をいただければと思います。

それでは、資料2-1のほうに戻りまして、1ページ目をごらんください。

まず、1年間の取組成果と今後取り組みたいこととありますが、全体として区運営方針に掲げた目標はおおむね達成し、一定の成果を得ることができたと認識をしております。

続きまして、4つの経営課題ごとに、その内容をお示ししたいと思います。

まず、1ページ目、経営課題1、安全・安心のまちづくりですが、昨年の大阪府北部地震や台風21号が多くの被害をもたらした状況を受け、自助・共助による避難所開設訓練や防災出前講座など地域の自主防災組織への支援とともに、医療福祉関係機関との連携に取り組み、医療救護の初期初動体制の確保として区内医療機関と医薬品等を備蓄する協定を締結しました。

また、子どもの見守りや街頭犯罪防止に向けた啓発活動、路上喫煙や自転車マナー向上など、警察や地域等と協働した取り組みを進めました。

左下の10から20年後を念頭にしましためざすべき将来像と取り組みで、経営課題1の戦略3つを下線でお示しし、30年度の主な取組実績を記載しております。具体には、資料2-4、みやこじまレポートの3ページから8ページをご参照ください。

これらの取り組みにより、また資料2-1に戻りますが、1ページの右下に書いてありますとおり、戦略1-1、防災のまちづくりでは、区民の防災意識は高い水準を維持、大規模災害に備え、引き続き、事業所・施設との連携、自主防災組織支援などの取り組みを進める。

戦略1-2、防犯のまちづくりでは、街頭犯罪減少に向け、日中・夜間の青色防犯パトロール、防犯キャンペーン等に取り組んだ結果、大阪重点犯罪5手口の犯罪件数は大幅に減少したが、深夜間の街頭犯罪件数は増加。引き続き、警察や地域と連携した効果的な啓発等に努める。

戦略1-3、人に優しいまちづくりでは、京橋地域での路上喫煙マナーが向上していると感じる区民の割合が5割にとどまる。引き続き、地域とも連携し、市民協働型の啓発活動等の取り組みを進めると、それぞれ自己評価をいたしました。

続いて、2ページ目ですが、経営課題2、人と人がつながり、助け合うまちづくりですが、地域活動協議会を中心としたコミュニティの活性化、区民まつりなど、地域のつながりづくりや幅広い区民の参加促進に取り組みました。

また、住民に身近な相談窓口としての機能を担う地域福祉コーディネーターを中心に、地域の見守りネット

ワークを強化し、高齢者や障がい者をはじめ誰もが安心して暮らせる健康・福祉の取り組みを推進しました。

左下のめざすべき将来像と取り組みですが、経営課題2の戦略3つを下線でお示しし、30年度の主な取組実績を記載しております。具体には、みやこじまレポート、9ページから17ページをご参照ください。

これらの取り組みを通じまして、資料2-1の2ページ、右下に記載のとおり、戦略2-1、地域コミュニティの活性化では、区民まつりは区民参加型で開催し、地域のつながりが拡大したと感じた参加者の割合は向上。引き続き、より多様な層が参加できるよう検討していく。

戦略2-2、住民主体の自律的な地域運営の実現では、地域活動協議会による自律的な取り組みは進んでいるが、自律的な運営が進んでいると感じる構成員の割合は目標を未達成。今後、組織運営における各種マニュアルの整備・活用を促進する。

戦略2-3、いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくりでは、地域福祉コーディネーターの活動は9,000件以上の実績で推移するが、認知度は横ばい。引き続き、認知度の向上に努める。健康展等の事業は健康づくりのきっかけとなるが、定期的に検診を受けると回答した割合は横ばい。今後、周知を含めた工夫を行う。母乳育児に係る各種教室、出産直前講座等の充実に取り組み、各講座での母乳育児について不安が解消された割合は目標を達成。今後もより充実した取り組みを展開。地域の子育て情報の周知や相談窓口の拡充を積極的に行い、相談件数は目標を達成。成長とともに変化していく子育てのさまざまな相談対応に継続して取り組むと、それぞれ自己評価をいたしました。

続きまして、3ページ目です。

経営課題3、明日に誇れるまちづくりですが、与謝蕪村などの歴史・文化、まちの魅力をインターネット動画等により発信したほか、おおさか東線新駅開業を機に、トークイベント、ぶっちゃけ！都島を開催しました。

また、区ゆかりの音楽家・貴志康一を題材に、中学校吹奏楽・合唱合同発表会を区内ショッピングモールで開催し、文化を通じて青少年人材育成に取り組みました。

また、スクールソーシャルワーカーによる子ども相談や小・中学生対象の英対話講座等を実施するなど、教育施策推進や子育て環境整備に取り組みました。

左下のめざすべき将来像と取り組みですが、経営課題3の戦略2つを下線でお示しし、30年度の主な取組実績を記載しております。具体には、みやこじまレポートの18ページから23ページをご参照ください。

これらの取り組みにより、資料2-1、3ページ、右下にございますとおり、戦略3-1、魅力あるまちづくりでは、水辺イベント等のPR動画をインターネット配信し、視聴回数は大幅に増加。ぶっちゃけ！都島では、まちの活性化をテーマに活発な意見交換が行われた。引き続き、民間活力による水辺のにぎわいづくり、まちの魅力発信に取り組み。中学校吹奏楽・合唱力向上事業では、貴志康一を題材にした、プロの技術指導を踏まえ、区内ショッピングモールでの合同発表会により幅広い方々に聞いていただくことができたが、地域にゆかりのある芸術・文化に対する興味が深まった参加者の割合は目標未達成。今後、より効果的な実施手法を検討。

戦略3-2、未来の都島を担う人材育成では、スクールソーシャルワーカーの対応件数は増加、学校との協働体制や教員の認知度向上をより一層促進するよう取り組む。グローバル人材育成事業では、今後、外国人と積極的に対話しようとする児童・生徒の割合は目標を達成。一方、応募者が少なかったため、今後、参加しやすいよう実施方法等を見直し取り組むと、それぞれ自己評価をいたしました。



続いて4ページ目です。

経営課題4、区役所力の強化ですが、区政会議や区民アンケートなどさまざまな機会を活用して、多様な区民の意見やニーズを的確に把握し、区民の声が区政に反映される仕組みづくりに取り組むとともに、広報紙の全戸配布、SNS等によるタイムリーな情報発信に取り組みました。

また、職員の接遇研修をはじめ、5S推進体制チームの活動を通じた窓口サービス向上に取り組み、利便性の高い区役所づくりを進めました。

左下のめざすべき将来像と取り組みでは、経営課題4の戦略3つを下線でお示しし、30年度の主な取組実績を記載しております。具体には、みやこじまレポートの24ページから30ページをご参照ください。

これらの取り組みにより、資料2-1、4ページ、右下記載のとおり、戦略4-1、区民の声が区政に反映される仕組みづくりでは、区政会議委員のアンケートでは、委員の意見や要望、評価について適切なフィードバックが行われたと感じる委員の割合は目標未達成。今後、反映状況をよりわかりやすく説明できるよう改善に取り組む。広報紙、ホームページ、SNSによる情報発信について、約半数が情報が役に立ったと回答。引き続き、各媒体の特性を生かした効果的な情報発信に取り組む。

戦略4-2、総合行政の拠点としての区役所づくりでは、当区が担当する市民の声の平均回答日数は、他部局が担当のものを含めると目標未達成。今後も関係機関との連携を強化し、サービスの向上に努める。

戦略4-3、区民が満足・納得できる区役所運営では、来庁者等に対する窓口サービスの格付結果は、評価点3.5、星2つを達成。引き続き、職員のスキルアップを図り、窓口サービスの向上に努めると、それぞれ自己評価をしております。

以上が、経営課題ごとの自己評価でございますが、一番下の解決すべき課題と今後の改善方向としまして、市政改革プラン2.0区政編の改革の柱である地域社会における住民自治の拡充について、地域活動協議会の認知度向上や担い手不足の解消など、解決すべき課題があると認識している。「安心のまち、人がつながるまち、明日に誇れるまち」の実現に向け、地域活動やイベント情報を広報紙の連載などあらゆる機会を通じて発信し、地域コミュニティ活性化につなげていくとともに、子どもの健やかな成長の支援や、区民の意見・ニーズの的確な把握に努めるなど、より効果的な区政運営に取り組んでいくと総括をさせていただきます。

説明については以上でございます。皆様からのご意見により、今後の取り組みや改善につなげていきたいと考えております。ご議論よろしくようお願い申し上げます。

**【森本議長】**

ありがとうございました。

30年度の運営方針に掲げるもので、安心のまち、そして人がつながるまち、明日に誇れるまちということで、今、経営課題ということでお話ございました。

今の内容の説明の中で質問、ご意見等がある方は、挙手のほうよろしくお願いたします。

**【玉川委員】**

ちょっとすみません。3ページの中学校吹奏楽・合唱力向上事業云々ということで、幅広い方々に聞いていただくことができたが、地域にゆかりのある芸術・文化に対する興味が深まった参加者の割合云々というて書いてあるんですけど、レポートの21という項目、これ21ページという意味でいったらいいのかな、確かに目標70%

に対して31%という非常に厳しいパーセントになっているんですけども、皆さん参加されて、たくさんの方に聞いていただいた、それはかなりよかったんじゃないかなという感じはするんですけども、この言葉そのものが、興味がより深まったと感じる生徒の割合という、この問いかけそのものが非常に無理があるんじゃないかなという感じがするんですけども、どうでございましょうか。70に対して31というこの数字に対しての背景というのは、私はそうじゃないかなと。

**【西岡課長】**

政策企画担当課長の西岡です。本事業の担当としてお答えをさせていただきます。

この中学校吹奏楽・合唱力向上事業ですが、都島区として昨年度初めて取り組みをいたしまして、大阪市音楽団というところと一緒にやってきたんですけども、初めての取り組みということもありまして、都島区の世界音楽家の貴志康一を題材にして、それを継承していくという目的を掲げていたんですが、貴志康一の曲を中学生で取り組むというのは技術的にもなかなか難しいといったこともありまして、5つの中学校に取り組んでいただいたんですが、実際、発表会までやっていただいたのは2校だけということで、なかなかハードルも高かったのかなということは、音楽団とか学校のほうからはちょっと聞いておるんですけども、事業の手法については、生徒に何が何でも貴志康一を演奏させるということではなくて、貴志康一の芸術・文化というののすばらしさとか、そういったことを実感していただける手法というのはほかにもあるのではないかなということで、今回参加いただいた学校の先生方ともご意見を聞きながら、2年目の事業については変えていきたいなというふうなことは思っております。それに伴って、目標は目標として、少しでも上げていければなというふうに思っております。

以上です。

**【玉川委員】**

これどうなんでしょう、知名度が上がったらパーセントは上がるという、そういうイメージなんですか。わし、ちょっとこの言葉そのものの意味がもう一つよくわかんないんですけどもね。いろんな見方があると。貴志康一さんというのが、一般的に皆さんが知っている作曲家とか、そういう人たちに比べてそこまで知名度がない、だから興味云々というのが低いのかな、これ一つの見方があると思うんですね。本当にそうなんだろう、そういうつもりでこのアンケートというのをとったんか、そこら辺がもう一つちょっと理解できなくてね。

これ、例えばこれを70%へ持っていくためにどうすりゃええねん、もっと貴志康一という名前をどんどんあれしたらパーセントは上がるんだろうかと。そんなようなものなのかな、それもちょうと若干疑問があつて。このアンケートのとり方そのものに対して、私、疑問があると思うんですよ。一般的に皆さんに聞いていただいた、それでいいんじゃないかなという感じがするんですけどね。

**【西岡課長】**

どうもありがとうございます。

確かに、一般の方に、今回ショッピングモールというところもありまして、たくさんの方に、300名ぐらいじゃないかなと思うんですけども、聞いていただきましたので、一定の成果はあったというふうに我々も思っているんですけども、実際に演奏された生徒さんとかそういった方、次の世代を担っていただく方々に、きつ

ちり区の文化というのを受け継いでいってもらおうという意味でお聞きしたアンケートなんですけれども、なかなか、理解とかそういうところの難しいところもあるかなと思いますので、そういった成果のとり方も含めて、またそのあたりはちょっと検討していきたいなと思っております。

**【森本議長】**

玉川委員、よろしいでしょうか。

ほか、ご意見等ございませんか。じゃ、栗田委員、よろしくをお願いします。

**【栗田委員】**

お願いなんですけども、私ところ、東都島のホームページを開いておったんですけども、ある理由で電気屋さんで商売やめられて、ホームページのつくりかえができないんですわ。できましたら、それを教えてくれるような方がおられたらご紹介してもらえんか。新しく立ち上げるんであれば立ち上げると。シリアルナンバーというんか、何かナンバーあるんですわね、開く。僕もコンピューターのこと、あんまりよう知らんのでね。ほんで、一応区政会議で一遍聞いてみようかと、区役所自体はホームページつくってはんねんから。私ところは東都島だけのホームページをつくらうとしているんですけど、何とか教えてくれる方を紹介していただければ助かるんですけど。よろしくお願ひしたいと思います。

**【森本議長】**

これは金森さんかな。金森課長やね。

**【金森課長】**

まちづくり推進課の金森です。いつもお世話になっております。座ってお答えさせていただきたいと思ひます。

実は私自身もホームページをつくったことはございませんので、知識的には今すぐ即答できるような、人材がおるのか、すぐできるのかというお答えは、ちょっとわからないというのが正直なところでございますが、うちにも支援できるまちセンというものがありますので、多少の知識、ノウハウは持っているかなと思ひますので、またその辺と相談させていただきますし、区役所のホームページを運営している担当の課もございまして、そちらのほうにも確認をしながら、また個別にちょっとお答えを返させていただきたいと思ひます。

**【栗田委員】**

すみません。副議長の辻上さんが大体そういうことを、きょう休んでいますけど、そういうことを担当していますんで、よろしくをお願いします。

**【金森課長】**

はい、わかりました。

**【森本議長】**

栗田委員、今言われた内容は、たしか都島区の出前講座の中で、そういうホームページを立ち上げるとか、あるいはフェイスブックを立ち上げたいとかそういったものが、大阪市の支援員というか一緒になって、無料で地域のほうに入ってやりますよという、そういう仕組みがあるはずですよ。それは、地域連絡会あるいは連合振興町会の会議の場でも、意見、9連長のほうからもありましたけれども、そういう制度は無料でありますので。今までは、民間のプロの方を呼んで費用を払ってやっていただいていたんですけども、そういうふうに入

り込まれて、大阪市のほうでいろいろなスペシャリストの方が、防災に関してとかたくさんおって、無償でその地域のほうに入って、一緒にこういう形で立ち上げていきたいと思いますというものがあるはずなんですね。役所のほうにあると思います、それは。それを提示、書類等、していただけたらいいかなと思いますので。

**【玉川委員】**

今、森本さんおっしゃられたとおりで、実は桜宮地域は、まちセンの担当されているKEGキャリア・アカデミー、そちらのほうから人に来ていただいて、フェイスブックで地域の活動報告というのを全部つくらせていただきました。大体スタートの時点をちょっとやっていただきましたら、あとは我々が運営という格好でできますんで。それ、全く手弁当で来ていただいてやっております。

それと、今、週1回、パソコン塾といますか、ちょっとしたことでわからないというんで、うーんと悩むのが我々でございまして、そういうようなあれを、構えてパソコンを教えてもらうということじゃなしに、ちょっと使っていたときに何か変な飛び方をすると変な文字が出てくるとか、そういうようなことを小まめに教えてもらう、そういうようなことをやってみよう。

それともう一つ、先ほど言われました人材センター、先般、まちセンのご指導いただいて、今度、人材センターのほうからどなたか来ていただくようにしようじゃないのということで申請をしました。そしたら早速、大阪市のほうから具体的にどんなような格好であれでしょうかということで問い合わせがありまして、こんな趣旨でやりたいんですというお話をさせていただきましたんで、近々何とかいけるんじゃないかなというふうに思っています。

とにかくできるだけ、そういうような制度があるんで、あるいは、まちセンを今やってくれている人たちはそういう教育の部門も持っていますんで、活用していただけるんじゃないかなというふうに思います。

**【森本議長】**

ありがとうございます。

本当、私、友渕なんですけれども、ちょうど防災ワークショップで、都島区の出前講座を使って大阪市の危機管理対策の方に来ていただいて、突っ込んだ、スライドを見ながら、ワークショップをさせていただきました。これも無料なんですよ。どういうふうな取り組みをしていくかということは、しっかり丁寧に、役所のほうも来ていただいて、事前打ち合わせして、そして地域のほうで人を集めて、こういう問題があるとか、うちの地域ではこういうふうにしていったほうがという、そういった意見交換がありました。今までこれが、各地域で講師を呼んだり、費用がかかってね、そういったのがたくさんあったんですけれども、そういう出前講座、区役所でこんないい制度があるので、これをどんどん使って、各地域一緒になって考えてもらって、そういった場で使っていないとやっぱりもったいないですね、せっかく制度があるのでね。また、防災については危機管理対策室ということで大阪市のほうからも来ていただけますし、そういった部分の活用をどんどん広めて、皆さんにこんなあるんだよということで、それを区役所もどんどん宣伝していただきたいなというふうに思います。

金森課長、お願いします。

**【金森課長】**

せっかくいただきましたので、ちょっと宣伝がたら少しだけ。森本議長がおっしゃったとおりの、正式名称

的には大阪市の地域公共人材という人材バンクがありまして、無料で使っていただける制度になっております。ただいま人材は120名余りでございまして、江川委員もよくご存じの京橋活性化機構の方も、人材バンクに登録されている方もいらっしゃいます。後ほどまたお伝えしますけど。都島の地域の方で登録されている方もいらっしゃいますので、ぜひともお使いいただいたら結構かと思えます。申し込みは私どもの窓口を通じて申し込みとなっておりますので。

以上、宣伝させていただきます。ありがとうございます。

**【森本議長】**

ありがとうございます。

ほか、ご質問、ご意見等はございませんでしょうか。

江川委員、よろしく願います。

**【江川委員】**

今回で2期4年が終わるんですけど、4年間ずっと、ぶっちゃけ！都島を復活させてほしいと言うていたんですけど、ことしの1月に全く違う形で復活して、一応、訪れたい、住みたいまちという形で、新駅のほうでイベントをやっていたと思うんですけど、これって、訪れたい、住みたいまちというぐらい、そこから3カ月、駅できてからたっているんですけど、商店街とかは盛り上がっているのかなという。今、そっちのほう住んでいる人が、余り進んでいないから、また僕らも今度、部屋借りてコミュニティスペースつくって、そっちにもう一個拠点をつくらうかなと思っているんですけど、今、これで結構、僕もその会に参加して、意見が出て何か何個かやるみたいな話になっていたんですけど、どのような形になって、どれぐらい人がふえて、大工大というか、そういう若い子を入れるというたん、それがどれぐらい入っているのかというのは、そういうのは、盛り上がったという、この言うているのはどれぐらいのことで言うてんのかなと、何を基準に言うているのかなというのを、ちょっとデータあれば教えてほしいです。

**【寺川委員】**

関連で。今、江川委員さんが言われたように、実は僕もそれを質問しようと思っけていまして。写真載っていますから、一応責任があるということになりますから。そういう意味でいうと、一応データの的には2017、2018って55%と書いていまして、多分、トークイベントそのものは割と盛り上がったような気はします。もう少し幅広く、いろんなご意見いただけたらなと思っけていたんですが。

ただ、僕も伺おうと思っけていたんですが、多分こんなイベントいろいろできるんじゃないかとか、こういうつながりありますよねということだったので、その後気になっていたんで教えていただきたいと思っけています。例えば、JRさんとコラボレーションをもっとできるんじゃないかとか、それから循環型の仕組みをどうつくるかとか、蕪村のものをどうまちの中でつなぎ合わせていくかとか、あと道路と駅前の活性化の仕方、駐輪場をどうしていくか、それが、大工大の人たちがこの拠点になるはずなので、彼らとつながる、新しい担い手として、学生を空き家問題とつないでどうしていくのかみたいなことを、かなり具体的な提案が出ていましたので、それについても気になっていましたので、ちょうどついでにその情報もいただければと思っけています。

**【西岡課長】**

すみません。政策企画担当、西岡です。

ことし1月に、「ぶっちゃけ！都島」を開催しまして、寺川先生にも江川さんにもおいでいただきましたけれども。久しぶりの開催ということで、城北公園通駅の周辺の活性化というテーマで、ちょうどタイムリーな企画をさせてもらったのかなということで、当日は50名ほどの方、来ていただきまして、先ほどご紹介いただきましたように、いろんなアイデアとかまちづくりのお考えを出していただきまして、一旦はこういう形できっかけづくりはできたのかなと思っております。

ただ、その後ということであるんですけども、地元では、桜まつりとか城北緑道を使ったイベントですとか、地元の商店街、蕪村通り商店街のほうでぶそん市というような、若い方々が集まるようなお店を出したりとか、そういったことも定期的にされて、一定、ちょっと盛り上がりというのか、そういうふうな芽はできているのかなというふうには一定感じているところです。

そうはいいましても、今後どういうふうに展開されるかというのは、やっぱりまちづくりやっている地元の方々が中心になっていくと思いますので、お互いの意見交換というのは今後も何らかの形でやっていくことが大事なのかなというふうに思っているんですけども、今の時点で具体的に何か地元でイベント、新しい企画をすとかいうのは今のところではまだないという状態でございます。

【森本議長】

江川委員、何かありますか。

【江川委員】

僕も桜まつりのん全部参加させてもらって、今、質問させてもらっている話なんで。50人ぐらい集まったというのも、年齢層もつけていないので、ちょっとそれだけやったら、盛り上がった形になってはいますが、ぶっちゃけ！都島の平均年齢、多分30歳ぐらいやったと思うんですけど、今回の人、60歳ぐらいやったと思うんで、また全然違う。まちづくりというのは、町会とかを中心のまちづくりの話で何個か意見が出ていたと思うんです。そっちがどうなったのかなと思うて。桜まつりとかももちろん行って、どういうふうに盛り上がっているかも確認はしました。ありがとうございます。これで十分です。ありがとうございます。

【森本議長】

ありがとうございます。

ほか、ご意見等ございませんでしょうか。

では1点、ちょっと私のほうから。2ページの、地域活動協議会という文言が非常に出てきているわけなんですけれども、恐らくこれは印刷ミスやと思うんですけども、「地域活動協議会を中心とした」活動というふうにならなっていますけれども、これは、今まで、前区長の林田区長のときから、地域振興会、各地域の連合振興町会が中心となってこの地域活動協議会を運営してきたということで、2年前の資料ではそういうふうにはうたっているんですけども、今回、地域振興会、さまざまな方が携わって地活のほうも運営されています。もう全てですね。単独で地活で役員がいて地域で活動やっているというのはまずないですわ。いろいろな方々、地域で貢献されてきた方、また、これから入って頑張る方、若い人から高齢者まで携わって、やはり昔から根づいてきた地域振興会を中心として地域活動協議会を盛り上げていくということで、地域活動協議会を中心としたということは、ちょっと私自身、地域の者としては間違いやと思うんですよね、書きミスやと思うんですけども、そこの部分の考え、区長かわられまして、そこの認識は、区長、どうなんでしょうか。

【大畑区長】

ご質問、ありがとうございます。今、森本議長おっしゃったように、まずはまちづくりの中心になるのは一つ一つの小さな町会の単位だと思うんですね。その町会長さんたちがしっかりとまちを運営して、それを集まった形で地域振興会という中でまた代表の会長さんがいらっしゃるというのがまちづくりの基本でありますから、今、議長がおっしゃったように、地域振興会、町会の方々が中心となってコミュニティの活性化が成り立っていくというには異論はありませんので、そのあたりはおっしゃるとおりだというふうに、私も林田区長同様思っております。

【森本議長】

ありがとうございます。

本当、今まで長年やられてきている方、そしてまた、これから地域に入って一緒にボランティア活動をやっ  
ていこうという方、さまざまな地域によって状況が違います。そういった部分も含めて、区民まつりもそう  
です、1つ大きなお祭りも毎年毎年大成功して、小さいお子さんからお年寄りまで参加していただいて、盛り上  
がって事故もなく済んでいるわけでごさいます、今までやってきていただいた先輩方もおられますし、また、  
これから新しく入ってそういう活動をやりたいという方も出てくると思いますので、その部分は一緒になっ  
て、地域と役所、区役所、行政ですね、また大阪市も含めて一緒になってそこは前に進んでいかないと、そ  
こに壁があれば絶対よくなりませんから、意見も出てきませんし、そういった部分で全てをやるというのは非常  
に難しいかもしれませんが、やはり会議だけで済ませるのではなくて、最終的には区政運営に反映して  
区民の目に見える形、そして理解して参加型にしていくというものにやっぱりしていかないと、会議だけで終  
わってはだめなんじゃないかなというふうに思いますので、その部分も含めて、今回、区政会議の皆さん、1  
期2年、また2期4年された方、引き続き、次新しい方になると思いますので、それはぶれずに前に前に進んでい  
っていただきたいなというふうに思います。

では、後ほど意見交換もごさいますので、次、進みたいと思います。

続きまして、議題3のその他についてということで、事務局よりご説明のほうをお願いいたします。

【西岡課長】

政策企画担当課長、西岡です。

それでは、議題3、その他についてご説明をさせていただきます。

資料3、区政会議における意見への対応状況をごらんください。

昨年度に開催した区政会議の全体会議、専門部会の中で出された意見について、項目ごとに整理し、対応方  
針、予算措置とあわせて、表にしてお示しをしております。質問をいただいた委員名も記載しておりますので、  
ご確認をいただければと存じます。

なお、分類の数字ですが、6ページの一番下に記載のとおり、①が30年度において対応、②が31年度運営方針  
に反映または31年度に対応予定、③が31年度では対応できないが、今後引き続き検討、④が対応困難または対  
応不可、⑤がその他としております。

時間の関係もありますので、個々の意見ごとの説明は省略をさせていただきますが、参考にござんいただ  
ければと思います。

説明については以上でございます。

**【森本議長】**

ありがとうございます。

本当に、これ字が小さいんですけども。僕、老眼鏡かけてじっとこれ読んで、振り返って、ああ、こういう意見あったとか、ああ、これ目に見える形にしたとか、ここの地域、たしかこれやり始めたとか、すごい素晴らしいことが書いていますねん、この内容ね。本当に、これ地域に持って帰って皆さんにお話をしたいぐらい。また、改善せなあかんとくも明確化になっておりましてね。こういうところをもっともって住民とか地域に理解してもらったら、いろいろなこんな活動をやっているねや、区役所も、また地域もこういうふうにやっているんや、また、こういう団体さんがあってこういう取り組みをやっているんやという、すごいいいことが書いてあるんで、何かもっとわかりやすいようにしたいなというのはあるんですけども、これは次の委員さんにお任せして、ぜひ目に見える形、会議だけでなく、目に見える形、実感という部分ですわね、そこを目指していけたらいいんじゃないかなと思います。

また、この区政会議については、過去、私も参加していただきまして、ことし2期4年ということで最終になるわけなんですけれども、区政会議にちょっと間違った認識で入ってこられる方がいたのではないかなというのもありました。この2年についてはそういうことは全く問題なかったんですけど、ランダムで入ってられた方が、国会じゃないけど、予算委員会とか区役所とかに突っ込んで、これほどないなってんねやとか、あれはおかしいんちゃうんかとか、何かそういう意見ばかり突っ込んで話をされている方もおられました。この区政会議というのは、自分が住んでいる都島区を建設的によくしていこうと、そしてここに選ばれた方たちが意見を言ってそれを目に見える形で実行していこうという、すごいいい会議なんですけれども、ちょっと履き違えた方で、役所に対して受け付けはどないなんやとか、本当に、またちょっと違う部分で突っ込んでおられた方もおられますので、そこは次、議長、委員さんになられるところでしっかり明確にした上で、この区政会議を充実していければいいんじゃないかなと思っております。また、議員の皆さん方も来ていただいておりますし、また何でも相談、話、ここで質問もできる体制に整っているんで、そういった部分も含めてしっかりとつなげていきたいなというふうに思っております。

では、順不同で委員の皆様、1期2年振り返りまして、何でもいいです、子どものこと、また高齢者のこと、そして障がい者の問題、また児童虐待、あるいは高齢者虐待、いろんなものに取り組んでまいりました。それを振り返って、一応2分間だけなんですけれども、ちょっとぎゅっと縮小して、1人ずつ感想、ご意見等お願いしたいと思います。

ではまず、寺川委員のほうからよろしく願いいたします。

**【寺川委員】**

皆さん、ご苦労さまでした。私自身も、この区政会議に参加させていただいて、まだ都島区に住んで余りたないんで、逆にこの会議を含めていろいろこのまちのことを教えていただいたというふうに思っていて、特に、委員の皆様も区の皆様も、本当に丁寧にこういうプロジェクトとかを整理されているなということで感心してまいりました。

僕の立場は大学教員でして、建築学部ですので、まちづくりをずっとやっています、そういう意味では、



区政会議は初めて参加しますので、ちょっと戸惑うところもありましたけれども、個人的にはもう少し踏み込んでいろんな方と色々なお話ができればよかったかなというふうには自分自身で反省しているところです。2分ですね、はい。

それで、まずポイントとしては、この区の特性というのは、住んでまだ時間がたっていませんので、ただ、僕として思うのは、やっぱり大阪市の中でも比較的平均的な特性を持っているまちだというふうに伺っていましたし、そう思いました。逆に言うと、特性、特徴みたいなものが余りアピールできていないのではないかなというところに、すごい興味を持ったとか注目してしまっていて、そういう意味でいうと、エッジシティというんですか、周辺にある区とかとつなぐ、すごく大切なハブとなるような僕はまちじゃないかなと思っていて、そういうメッセージがこれから見える化されていく、まちづくりの方向性として持てればいいんじゃないかなと思うんですね。だから、ハブシティとか、周りをつなぐハブをこのまちが持つんだというようなメッセージが要るんじゃないかなと思いました。そのためには見える化する作業というのが必要だと思うので、そういう意味では、それぞれが頑張っておられることがどうやって見えてつないでいくかという仕組みを、アナログも必要ですデジタルも必要だと思いますので、やはりそのあたりも、先ほどPCの話もありますが、スマホとか、新しいそういう今の情報技術も使ったつなぎ合わせみたいなものも、よりもう少しつないでいかれたらいいのかなというふうに思いました。

あと最後、特に体験型、まちづくりは今やブランドよりも経験型になっていますので、どう体験して経験してそのまちに参画するかという意味では、地の人と同時に、いろんなよその人たちが関わる仕掛けをつくらないと難しいのかなという意味では、このまちの持っているポテンシャルをぜひ生かしていただきたいというふうに考えているところです。どうもありがとうございます。

**【森本議長】**

ありがとうございました。

じゃ、続きまして阪本委員、よろしくをお願いします。

**【阪本委員】**

私は区の商店街連盟のほうからここへ出席させていただきまして、2年間いろいろと、地域の皆様、特に知らない保健関係とか、それから介護とかというのは、本当に目からうろこみたいなような意見をたくさん吸収できたと思います。

それで、私どもの区の商店街連盟、特に京橋地域の商店街というのは、これからもっといろいろな意味で変わってまいります。各商店街のテナントも、ここ、私、三十数年関わってきたんですけども、個店のさま変わり、お医者さん関係とかがふえたり、それから携帯さんがふえたりとあって、物販の販売がもう本当に少なくなっただけでありません。駅前に関しては飲食店がどんどんふえてまいります。もちろん観光客も来ますので、それはありがたいことですが、そこからまちづくりをどうしていくかというのは、従来の商店街の持っている役目とか、こうしなければいけないという役目がどんどん変わってしまっているんですね。だから、商店街の役目とかをこれからどうしていくかというのは、ここで区政会議、参加させていただきまして、区の皆さんの意見とか市の皆さんの意見、また介護関係とか、さっき言いましたように商店街とは違うそういうグループの方の意見というのは本当に役に立つとか、これからの商店街の活性化とか役目に、かなり私

はいい意見を聞かせていただいたと思っております。どうもありがとうございました。

**【森本議長】**

ありがとうございました。

じゃ、続きまして半野委員、よろしくをお願いします。

**【半野委員】**

どうも2年間ありがとうございました。私、無作為抽選で当たって、当たってというか、来させていただいたんですけども、本当に、地域に住んでいて、こういう会議があって、地域の人たちもその中に入って行って、都島区ってどんなふうなまちにしていきたいのかなというのをこういうふう具体的に話しされているんやなというのは、ここに来ないとわからないことやなというのは、たまたま本当に当ていただいて、あ、来てみようかなと思って、来て初めて知ることが本当にたくさんありますし、私、結婚して初めて都島に住んで三十数年たつんですけど、本当に子どもの保育所問題が、都島区、本当に保育所少なくて、自分が子育てしているときになくてなくて本当に、無認可のところへ預けたりとかという、本当に駅前の無認可でちょっと事故が起こりそうなど思いながら保育所に預けていたのが、本当に今、まちの中、自転車で走ったら、あ、こんなところにも保育所できているわとか、こんなところにも保育所できているわというぐらい、やっぱり都島区に住んで働き続けるお母さんたちを応援しているんやなというのをすごく最近感じています。うちの孫も、保育所、都島区で利用しているんですけども、本当に保育所の保育士さんたちもとても子どもたちに愛情を持っていただいて、行事なんかも、運動会とかも見に行っただんですけど、本当に一人一人にスポットライトが当たるような行事を組まれているなというのをすごく感心しているんですけども、本当に30年前は何もなくて、商店街も本当に高倉のほうなんかはベルファできるまでは買い物行くところもないぐらいのようなところやったのが、どんどん本当に便利になって住みやすいまちになってきているんやなというところでは、やっぱり箱も大切なんですけど、中に住んでいる人たちのつながりであるとかそんなのも、ますますこういう会議の中でできていったらいいなというのは2年間参加させていただいた感想です。どうもありがとうございました。

**【森本議長】**

ありがとうございました。きょうすごい意見で、何かいいですね。本当、この会議というのは本当に一番大きい会議というか。これだけのメンバーが集まって。だから年に数回しかないんですけども。本当、もっと掘り下げてやりたいんですけども。なかなか、各地域でそれぞれやっておりますんで。ぜひ今度は地域のほうに入ってもらって、一緒になっているような意見で参画していただいたらいいかなというふうに思います。ありがとうございました。

じゃ、日野委員、よろしくをお願いします。

**【日野委員】**

お疲れさまです。2年間、本当にどうもありがとうございました。

私は、一般の応募で、なりたくて手紙出して選んでいただいたんですけど、町会のほうでは今は婦人部長をやらせていただいている、区政会議ってどんなことやってんねやろうと思って、2年間参加させていただいて、やっと1年たったぐらいで、ああ、ようやくちょっとつかめてきたかなみたいな。最初は、何かいろんなことをアイデア言ったりして何かスルーな感じとか、何か全部いろんなことが漠然とした、いろいろ文字はいっぱい

ある割に漠然としている感じで、つかみどころのない内容が多い印象を受けたりとかで、ああ、行政ってこんな感じなんかなと思ったり、あるいは、委員として意見言っても、これはNPOとか社協とかがつないでくれるべき問題であって、例えば老人に対してとか介護の分野で意見述べたりすることは、行政じゃなくこれは社協とかNPOがやるべきことなんかとかいろいろ思ったり、やる気なくしたり、やっぱりやる気、もうちょっとモチベ上げてみようとか、落ちたりとか、いろいろしながらの2年間だったんですけど、皆さんのおかげとか、今までにずっといろいろやってくださっていたおかげもあって、すごく住みやすい都島で、私は地元なので、すごく都島が大好きで、周りの人からも、あ、都島なんや、ええとか、私も都島やったら住みたいと思うという声をほかの区に住んでいる人から聞いたらやったーとやっぱり思うし、そういう都島をずっと維持していけたらいいなと思うし、それはやっぱりこういう人たちのおかげで、いろんなところでいろんな活動されている人たちが、ずっと継続してつないできているからそういうまちづくりができているんだと本当に実感できた2年間で、そんな中で、いろいろやっていることはあるんですけど、私の印象に一番残った、いいなと、いいやん、これと思ったのは、とくし丸がすごくいいなと一番印象に残ったことなので、引き続き、先ほどもおっしゃっていましたが、全域に広がるように、いろんなお年寄りとか障がいを持つ人に優しいまちであるように、どんどん工夫して展開していけたらいいなと思います。

以上です。ありがとうございました。

#### 【森本議長】

ありがとうございます。

今ちょうど、皆さん、1期2年振り返って、どういう感じやったか思いを今それぞれ最後の部分で発表しているんで、ちょうど来たところで申しわけないんですけども、振り返って意見あれば言ってください。

#### 【塚田委員】

塚田です。2年間、ありがとうございました。

私も、一般公募させていただいて選んでいただいた立場なんですけれども、最初は都島区という区がどんなところなんだろうというところから入って、まちの中につながりがあって、とても住みやすいところになっていったらいいなという漠然としたもので応募させていただきました。ふだん医療の現場で働いていますので、医療というのはすごくほかとのつながりに関して壁があって、なかなかつながりを持っていないような現状があったりするんですね。そういった中で、障がいのある方であったり病気をお持ちの方というのが対象になるんですが、その方々が社会に戻っていく過程の中で物すごく戻りにくい社会というのが目に見えてあるんですね。なので、直接障がいのある方々にアプローチをして、その方々の力をつけるだけでは無理だと、やっぱりまちが、受け皿がない中で帰れる場所なんて絶対ないというのが僕の中にはあって、そういったところに携われたらなというのがありました。

今現在、子どもさんの障がいのある方々を対象にリハビリをしているんですけども、そういった中でも思うのは、学校と医療、ここのつながりって意外とないんですよ。不登校の問題なんかはかなりクローズアップされるんですけども、不登校の子どもたちの背景にちょっとした発達障がいがあったりだとか、そういったちょっとハンディキャップみたいなものはらんでいる可能性があったりするんですね。どうしても医療というのは何か事が起きてからでないと関わらないというのが今までのスタンスなんですけれども、医療の現

場において思うのは、予防医学というところにもっと医療が関わらないといけないなというのは思っているんですね。なので、こういった区政委員、こういった立場の中で、医療の現場の人間がどれだけお金にならない、予防医療ですね、今、お金にならないんですけども、そういった現場の中に入って行って、医療の立場からという視点と一市民としての視点と両方合わせて意見できたらよかったなというふうには思っています。

ただ、この2年間、何もわからずに入らせていただいている中で、やっぱり知識不足もあってなかなか意見することというのができなかったですし、どうしても会議の特性上、報告会みたいな形になりやすかったので、ディスカッションというところまで持っていけるような会に発展していけると、もっともっと活性化して、市民の声というのが組織の何か変革に変わっていくのじゃないかなと思ったりしています。

2年間、ありがとうございました。

**【森本議長】**

ありがとうございました。

じゃ、江川委員、よろしくお願いします。

**【江川委員】**

僕は2期4年やっていて、ずっと同じことを言うていたんですけど、区長がさっきおっしゃったんで今から言うことは無駄なんですけど、町会メインというのはわかるんですけど、町会入っている割合からして、人数が30%とかいうんやったら、もっと一般公募をふやして、ほかの区みたいに企業枠があったりとか、地域で活動している人の意見とかいろんな人の意見、町会が全部なくなるという意味じゃなくていろんな、町会の人プロのまちづくりというか、区の人につながる可能性は高いんですけど、本当にいろいろ思っている普通の人というのが全然意見が通らないんです。それが、ぶっちゃけ！都島をやってほしいと言っているのもその一つで。そういう人の意見がもっと入るような形になったらいいなと思うのと、あと、さっきも森本さんがちょっとお声がけしてくれたんですけど、僕は今回で終わりますけど、こども食堂とか空き家を使ったコミュニティスペースとか、僕は「大阪を変える100人会議」で社会問題もやっているんで、そういう地域資源じゃないけど、地域でいろんなことやっていきたいんで、町会のほうから声かけてくれたら僕らも社団法人と一緒にいろんなこともやっていくんで、また興味ある人はそういうの言うてくれたらできることは手伝うんで、言うてください。

あと、淀川連絡線跡地、ずっとあるんですけど、そこも子どもがもっと遊べる場所にしたいんですけど、これ、ずっと続けて4年間でも全く進んでいる感じが見えなかったんで、これから傍聴席に来て話は聞こうと思うんですけど、こういう話も、ここだけじゃなく、いろんな人の、本当に住んでいる人の意見とか聞ける場をまたつくってほしいなと、それ思いました。

4年間、ありがとうございました。

**【森本議長】**

ありがとうございました。

では小田切委員、よろしくお願いします。

**【小田切委員】**

淀川連合の小田切です。2年間、ありがとうございました。

私からはちょっと2つ提案をさせていただきたいんですけど、専門部会についてなんですけど、私が抱いていた

イメージは、担当者ベースで、都島をよくするために、ざっくばらんな意見交換ができる場だと思っていたんですけども、毎回こういった形で、大勢の皆様が列席されて、インターネットでも公開されている場で、なかなかぶっちゃけたことも言いにくい面があった、それから、残念だったのが、委員さん同士で議論できる場がなかったんですね。こちらへいらしている方は皆さんそれぞれの地域でいろんな活動されている方なんで、私はもっといろいろお話聞きたかったし、議論を闘わせる中で新しいアイデアも出てくると思うんですね。そういう場を設けてほしいんで、提案としては、今、教育部会でしたら年に3回しかないんですけども、その間に担当者ベースで議論し合える場をぜひ設けてほしいなと思うんですね。区の方も担当者で結構ですし、我々委員と担当者ベースで話ができる場をぜひ設けていただきたいと思います。

それから、もう一つは青色パトロールのことです。これは、私、交通部長として子ども見守り活動とかしているんですけども、青色パトロール、小まめに回っていただいているんですけど、今は専ら、警察からのお知らせです、特殊詐欺ご注意ください。これ聞きますと皆さん、あ、警察が回っているんだと思っていると思うんですね。でもこれ、区の担当の方が一生懸命回っていただいているんで、せっかくなんでもっと区でやってんだということをアピールしたほうがいいと思うんです。それで、例えばこの青色パトロールというネーミングももっと変えてみたらどうかなど。例えば子どもたちから募集してネーミングをつける、あるいは車体の色も、何か夜間の犯罪ふえているということですから、夜間でも目立つような蛍光色にしたりして、ちょっと非常に目立つものにして、区でこれだけ一生懸命やってんだということをアピールして、それがまた犯罪の防止にもつながればいいんじゃないかなと思っております。

2年間、本当にありがとうございました。以上でございます。

**【森本議長】**

ありがとうございました。

では続き、南委員、よろしくをお願いします。

**【南委員】**

2年間、どうもありがとうございました。

私は、何年前に、この区政会議立ち上げのときに、青少年指導員の会長として出させてもらって、そのときはもっといろんな話も細分化されていて、いろんな話をしたなという覚えがあるんですね。さっき言われたようにもっと、しばらく何年間の間に、町会入って非常に頭がかたくなって、新しいことを考えられないようになってきて、ここへ来たらいろんな意見を聞いてもっと頭がやわらかくなるかなと思うて、期待して寄せてもらいました。

ほんで、さっき言われたように、ディスカッションとか、いろんな公募で来られた方の意見をもっともっと聞きたかったんですけど、なかなかこういう場になると意見も出ない、余り細分化すると出てくる回数が多くなってとんでもない、今の回数でもやっとこさ出てきてのに、ほんまはもっと話聞きたい、だけど時間がない、来れない、そのジレンマで一生懸命だったんですけども。うちの連合も、できたら若い人に出て行ってくださいということをお願いしたんですけども、悲しいかな私が若いほうなんで、ほんで行ってきとと言われて来たようなあれで。ほんで、連合では若いですけども、非常にやってきた年数が長いので、先ほど言うたように非常に頭がかたくて、もう何か言うと守ろう、守ろうとするような感じで、それではだめだなとここへ来て、改

めて、よし、今度また頑張っているんなこと考えてやろうと思うて帰るんですが、またやることが、もうこれとこれと行事をこなして行って終わり。そうでなくて、反省をしてまた次につなげていきたいと思っているのに、次の日になるとまたもとへ戻るといことで、またこれからも反省なんですけども、もっともっというんな人の意見を聞いて、時間がある限り、ぶっちゃけ！都島ですか、そういうところも出させてもらって、もっともっ若返っていかうかなと思うております。

それとまた、先ほど言われたように、もうちょっとディスカッションできる、いろんな話が聞けるようなこととしてほしいなど。それと、いろんなことされてんのになかなか、ここへ来て初めて、あ、そういうことをされているんやということ、携わっている私でもちょっとわからないことがあるんですね。もっと一般の区民の方やったら、どこで何をしているかさっぱりわからない、もうちょっとうまいこと発信できる方法を考えてほしいというのが思うところなんです。

2年間、どうもありがとうございました。

**【森本議長】**

ありがとうございました。

田矢委員、よろしくお願いします。

**【田矢委員】**

4年間になりますけれども、これで終わりですので、ありがとうございました。

4年間、ずっと教育のことばかりの話をさせていただいたんですけれども、次代を担う子どもたちの健全な育成に資するにはどのようにしていったらいいかということで考えていたんですけど、私もPTAやって12年以上たつんですけども、最初から言っていたのが、グローバルな社会になっていくということが念頭にあったので、英語教育には絶対力入れないといけない。ということで、ずっと都島でPTAさせていただいたら、都島区はネパールとちょっとウェブ交流しようじゃないかと。あれ、とてもいいことだと思うんですけども、残念ながら、この前も校長先生とお話ししたんですけれども、「あれやっているんですかね」という意見しかないんですよ。学校からもそれ発信して。結局、学校の成績が上がるわけじゃないんですけど、英語を話せて成績が上がったら校長先生も喜ぶわけなんですけど、校長先生が、「まだあれやっているんですかね」とか、「行っていると思いますよ」ですから、伝わっていないんですよ。例えば、業者の方が、公平にしますよね、ジャッジして、公募してきはるときにお話ししたんですけれども、どのように学校にアピールされますかといっても、的確な答えが返ってこないんですよ。やり方がわからないんだったら教えてあげないといけないし、学校というのは校長先生動いたら動いてくれるところなんで、そういう、せっかく都島立ち上げてやったのにもったいないなところがあるというのが正直なところなんです。

個人的に、大阪市のPTAもやっているんで、英語の先生を呼びたいんですけどお金も要るんで、お金かからずに呼ぶ方法ないかというて1つ考えているんですけど、宣伝してはいけないんですけど、大学をアピールするかわりにそこから先生呼べないかとか、いろんな方法も考えていますんで、お金、予算とかくだされれば、そういうふうにもっと英語教育、ネイティブな英語教育ですね、2025年に向けて、都島区の子が通訳1割ぐらいするといったら僕すごいことだと思うんですよ、ボランティアで。そういう学生たち、4年から中学校3年の子ぐらいまでが対象になるんですけども、そういう子たちを、もう少し、もっともっネイティブな英語を話せ

るようにしていただければというのは、また次の方に引き継ぎたいと思っているところです。

4年間、ありがとうございました。

**【森本議長】**

ありがとうございました。

栗田委員、よろしくをお願いします。

**【栗田委員】**

よろしくをお願いします。

私は、あえて市議員さん、府議員さんにお聞きしたい。来年度は都構想やりますね。その後、まず都構想が通れば、この区政会議はどうなるんですかな。私は、本当に言うたら文句言いたいことがあるんですわ。橋下市長のときに、まちづくり協議会、私どもの町会ではそう呼んでいます、ほかは地活ですか、でやっています。これが6年ほど前にできたんですわ。我々振興町会は、昔からの向こう三軒両隣、回覧板を回しながらまちづくりを始めてやってきていたわけですけども、まちづくり協議会というのができて、75%ですか、援助で、いろんな行事やれと途端に言われて、みんな困ったんですよ。最近、区役所の方々が一生懸命指導してくださって、なれてきたところなんですけども。来年、そういうふうな形で区政会議やれるんですか。それをお聞きしたい。できたら返答が欲しい。松井市長の返答を持って、よろしくをお願いします。僕は区政会議出ているかどうかわからないですけども、返答が欲しい。これからまちづくりしていく我々の振興町会の者、振興町会の者は、何でや言うたら、振興町会で選ばれるんですわ、選ばれてなったら、充て職みたいなんで、地活の会長、まちづくりの会長になります。誰に選ばれたわけでもない。嫌やと言うても誰もやる者ないからやっているわけです。こういうやり方でいいんかどうかをまず聞きたい。我々、一生懸命地域のために頑張ろうと思うているんですけど、75%や何やかんや言われて、もう嫌気差している人が大半です。嫌なこと言いましたけど、これで私のあれは終わります。

**【森本議長】**

ありがとうございました。

じゃ、引き続き玉川委員、よろしくをお願いします。

**【玉川委員】**

2年間、ありがとうございました。

皆さん、大分言いたいことを言われたんで、私が何か目新しいことを言う内容は何もなくなっちゃいました。

私の桜宮地域を見てみたら、先ほどの報告の中で、京橋地域の禁煙区域になっているんですよ。きれいになったかというアンケートをとったら、一昨年よりも昨年が落ちてんですよ、パーセントが。何でやろうかなと。私どもは、阪本委員と同じように、京橋の駅前、安全なまちづくり推進協議会という組織を立ち上げて、環境パトロールとか自転車パトロールとか、そういったものを定期的に京橋駅前でやっている。我々見る限りにおいては、京橋駅前、非常にきれいになったなど、昔に比べてきれいになったなど自負しているつもりだったんですけども、意外とアンケートの結果が大したことはなかった。何でだろうかな。1つ考えられるとしたら、京橋の駅前といっても京橋から京阪側なんですよ、禁煙区域は。京橋の城東側は禁煙じゃないんです。だから、駅おりて、京阪に乗る人は非常にきれい。たばこ吸うわけじゃない。京橋おりて、向こう側に行くほ

う、東側ですね、東側に行く人はそこでたばこやら吸っても禁煙区域じゃないんで。それが、京橋近辺というアンケートをとったら、両方見て余りきれいじゃないなという、そういうあれになっているのかな。我々、そこで頑張っている立場からすると、残念だなという感じがします。

そういう状況の中で、やっぱり都島区を何とかしようということで、我々頑張ってやっているつもりですけども、ただ、都島区だけよくなったって、周りがきちんとならないと何もならないんじゃないかなということ、我々隣接するところは、OBPが、桜宮地域、隣接します。お互い、京橋駅を中心として活動されているところでございますんで、OBPと桜宮地域、連携をとって例えば防災訓練とかそういうようなもの、お互いに人と時間と共有してやっていこうというようなことでやらせていただいています。先ほどの話じゃないですけども、中央区のOBPそうしたんで、城東区のほうも蒲生のほうと何かやれば、京橋地域、もうちょっときれいになるかなというふうに思っております。ぜひ、区役所も、隣の区でございますけれども、ぜひ連携をとっていただいて、大阪市全体がある意味きれいになるというようなことで、頑張っていたいただければいいんじゃないかなというふうに思っております。

2年間、ありがとうございました。

#### 【森本議長】

ありがとうございます。

この後、議員の皆様もお越しくださっておられます、今回、八尾議員はずっと我々地域と一緒にやってきて、各9地域の実態もご理解していただいていると思います。また今回、岡田議員、大西議員、そして魚森議員と。僕のほうからのお願いで、都島区には9地域それぞれの環境がございまして、特色もまた違います。そして、また我々も、議員の皆様がどういう人たちなのか、また、どういう思いでやっていくのか、また、自分ところの地域はこんななんだよと、子どもに関してはこういう問題がある、高齢者はこう、さまざま問題を抱えております、また、そういった部分を、やはり新しくなられた議員の皆様に対して、そういったまず意見交流を、各地域でやっていただきたいなというふうにも思います。役所とか、区役所、警察関係は、日々活動しながら、ささいなことでも打ち合わせしながらやっていっているんですけども、ただ、来賓紹介だけではなくて、やはりもっと市民の代表という位置づけで、この都島区、区は1つですけど、その中に9地域、たくさんの人たちがいるということで、その特色も理解をしていただいて、また議員の皆さんのやっぱり意見もあると思うんです、僕はこういうふうにと考えていると、区をこういうふうによくしていきたいという、やっぱりそういった思いも聞きたいというのがあるので、この後ちょっと一言ご挨拶という部分もありますので、それを含めてちょっとお言葉いただきたいなというふうに思っております。ありがとうございます。

では最後、本日の議案、その他事項で、これで一応終了させていただきたいと思います。

この後は事務局にお返しいたしまして、後ほど議員さんの皆さんのご意見も聞きたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

#### 【六車課長】

森本議長をはじめ各委員の皆さん、ご協議いただきましてどうもありがとうございます。

また、振り返りでは貴重なご意見、またご提案もいただき、ありがとうございます。

それでは、議員の皆さんもご出席いただいておりますので、順番に一言ずつご挨拶させていただきたいと思っております。



八尾議員、よろしく申し上げます。

**【八尾議員】**

皆さん、こんばんは。

今、森本議長からお話ありましたように、今回、4月には統一地方選挙がございまして、これまでいつも横に座っていたメンバーが総入れかえしてしまいまして、いろんなさまざまな思いがあるかと思えますけれども、今回、私以外は維新の会が住民の代表という形で選出をされております。選出されたからにはしっかりと、都島区のため、大阪市のために働いていくことを決意していると思っております。

今、お話をさまざまあったんで、何から言おうかなと思ったんですけど、まず区政会議のあり方なんですけれども、この区政会議はやはり回数が少ないということと、どうしても、多岐にわたっているんで、これは突っ込んだ話は無理だと思います、この区政会議の場でやるということ自体は。やはりどうしても報告会になってしまうのかなという、回数が少ないのでね。そうであれば、小田切委員おっしゃったように、部会をもっともっと充実させたほうが、もっともっとさまざまな突っ込んだ意見ができるのかなという感じがしました。だから、部会のほうを充実させるほうが、さらによくなっていくのかなという感じがしました。

それと、ここにきょうもお配りしていただいている資料3の区政会議における意見への対応状況、これも、議長もおっしゃっていましたように、見える化するということが非常に重要やなど。私たちの意見はこう言いましたと、この意見がどのように反映したのかということとをこういう形で見える化する、これをホームページに載せてもいいですし、インターネットで出してもいいですし。それがなければ、何か一方通行で終わってしまったりとか、うやむやで終わってしまったりする分があるので、何か役所は何も変わらないというふうに思われてしまったりもするので。実はいろいろやっていたりするけれども知られていないということが、非常にこれまでも多かったのではないかなと思いますので、できるだけこういった形で見える化をしていくということが今後も、ここにおられる委員だけの話ではなくて、ネットも中継されていますから、都島区の区民10万人の人たちが見ていると思って、意識してやっていくことが必要ではないかなと思いました。頑張ってます。

**【六車課長】**

ありがとうございました。

続きまして、岡田議員、よろしく申し上げます。

**【岡田議員】**

お疲れさまでございます。

まずは、区政と市政、日ごろからご協力いただきましてありがとうございます。1期2年、2期4年という長い間、ご協力いただきまして本当に感謝申し上げます。本当にこれから、僕も西成から来たものですから、この都島という地域、9地域、9連合町会、この地域のさまざまな問題というのが、当然あるのはあるんですけども、まだしっかりと理解できておりません。1期4年という我々は期間を与えていただいていますので、この4年間で我々自身が何ができるか、何をしていくのかというのを、本当に改めて重く今感じております。しっかりと皆様の意見を吸い上げて区政、市政に活かしていくためにはどうやって我々が行動していくかということも含めて、今後やっていきたいなと思っております。

今、皆様のお話を聞いていて、八尾議員もおっしゃったように、見える化とか参加型というのはすごい大事

やなと思っております、西成は部会をかなり活発にやっております、やはり僕も部会をもっと充実させるべきかなと思っております。部会は細かく皆さん分かれて何回も何回もやっておりますけど、いろんな意見出ています。合わない意見も、当然とんちんかんな意見も含めていろんな意見が出ているんですけど、部会を充実させた上でこういう大きなところに持ってきて、議題を問題提起、課題提起して、問題解決、課題解決をしていくべきかなと僕も思っておりますので、この4年間、しっかりと皆様の意見を市政に生かしていきたい、区政に生かしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

**【六車課長】**

どうもありがとうございました。

続きまして、大西議員、よろしくお願い致します。

**【大西議員】**

皆さん、お疲れさまです。すみません、夜遅くからありがとうございます。

私からは、この都島に7カ月前、そうですね、ほんまに7カ月、8カ月前から、浪速区のほうから来させていたでいて、いろいろ都島に住ませてもうて感じたことなんですけど、議員として活動させていただいて、参加させていただいたコムズガーデンの掃除、清掃など、あと桜之宮の公園の清掃など、そこへ参加させていただいて、地域の方、あと、ましてや企業の方も参加されておって、すごく安心・安全なまちやなと思った次第です。そして、清掃などで安心・安全のまちをつくるというまちづくりが、すごく僕はいいかないかと思いました。

ほんで、またあと、スポーツなどの行事がすごい盛んであるということ。私たち、昔住んでいた浪速区では、すごくスポーツが全然盛んじゃなくて、スポーツ行事がすごくなかって、大人から子どもまですごく参加されていて、今最近も、きのう、おとついても参加したんですけど、おもしろい行事もやっておりますということで、いいなと思いました。

あと、そうですね、地域の運動会、これも僕も参加させていただいたんですけども、学校ではできないプログラムがすごくあって、地域の方が参加されていたり、あといろいろ景品など、お菓子やパンなど、すごくおもしろい行事、プログラムがあって、まちの活性化につながるんじゃないかと思いました。

そして、そうですね、地域性で言えばやっぱり川浴いやビーチバレーですね。うめきたなど、ビーチバレー、最近やっておりますと思うんですけども、もっと都島もウメキタの、もっともっと盛り上がるビーチバレーをさせていただいたらいいかなと思いました。

そして、そうですね、教育に関してはICT教育、これ、大阪市すごく頑張っておりまして、今、協力してやっておりますので、ICT教育など、プログラム、プログラミングですね、今、小学生などもプログラミングやりながら、すごく教育に関しても、大阪市、力入れておりますので、またいろいろ区役所などで聞かれたらわかると思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

きょうはありがとうございました。いろいろな意見、ありがとうございました。

**【六車課長】**

どうもありがとうございました。

最後に、魚森議員、よろしくお願い致します。

**【魚森議員】**

皆様、お疲れさまでございます。府議会議員の魚森ゴータローです。

令和元年第1回の区政会議ということで、大畑区長をはじめ我々議員、新しく一新、新体制になりました。どうぞよろしくお願ひします。

本日は、専門部会からの報告と、そして平成30年度の運営方針自己評価の総括を聞きまして、おおむね目標を達成したということを知りまして、日ごろ皆様の並々ならぬ尽力のたまものだと深く感謝いたしております。今後も、目標を達成できなかったところとか諸課題につきましては、その理由をしっかりと分析して、今後、計画、実行、評価、そして改善と、この4つのサイクルで進めていければと思っております。

先ほど委員からお話がありました都構想については、振興町会とかはどうなるのかと、そういった問題点につきましては、来年の秋の住民投票に向けて、住民説明会などを通して議論を重ねていきたいと思っております。

また、議長のお話にもありましたとおり、各地域での意見交流会、これも、議員皆、呼んでいただいて、積極的に参加して意見交換を図っていききたいと思っております。

今後、都島区が掲げております「安心のまち、人がつながるまち、明日に誇れるまち」、この実現に向けて、地域と行政、また関係機関と連携をして、切磋琢磨してまいりたいと思っております。本日はどうもありがとうございました。

#### 【六車課長】

どうもありがとうございました。

それでは、最後になりました、区長の大畑より一言ご挨拶を申し上げます。

#### 【大畑区長】

どうも皆さん、貴重なご意見、本当にありがとうございました。本当に遅い時間まで、たくさんの思いも私自身、きょう受けとめさせていただきました。

私自身も実は、本当に4月に着任したばかりでまだ2カ月なんですけど、最初に自分自身が、都島区の配属というか就任と決まったときに、自分の中の一番の思いは、都島区ってどんな区というふうに言われたときに、幸せになれる区だよというふうに答えたいなと。本当、おこがましいような話かもしれませんが、先ほど委員のほうからもありましたように、都島はいいねと、都島区に住むのっていいねと言われると、とてもうれしいというようなお話がありましたが、本当に私もそれに近いような気持ちで、皆さんが幸せだ、都島区に来ると幸せになれるよと言ってもらえるように、ぜひこれから頑張っていきたいなというふうに思っています。

きょうの意見の中で、私自身が大きくまず2つ、2つというか、掲げておるんですが、1つは、大きな施策として、先ほどぶっちゃけ！都島の話があったんですが、私自身はこの会議に出ていないのでちょっと細かいことはわからないんですが、いわゆるインバウンドということで、海外からの外国の方にたくさん実は来ていただきたいなと。京橋というのが、先ほど寺川委員からお話があったように、ハブというような言葉があったんですが、外からたくさんの方々に来ていただきたいなと。そういう意味では、おおさか東線の新駅、これをもっと活性化していきたいなと。幸い、実は新駅の先が新大阪駅でして、ご存じの方も多いように、大阪市としては新大阪の再開発というのをかなりこれから力を入れていこうとしている中、新大阪とこの都島がつながっているということは、非常に5年後、10年後、大きな利点になってくるのかなと。そういう意味でも、海外から来

られた方が新大阪から都島に入ってくれるような新しいルートというんですね、そういう意味でも新しく淀川・大東地区の活性化というのを、京橋地区はもちろんなんですが、力を入れていきたいなど。そのためには、今、文化的な、与謝蕪村の話もありましたが、例えば、これも本当にまだ案の段階ですが、外国の方を呼んでの俳句大会ですとか、まだまだいろいろ皆さんからご意見いただいて、いろんなことができるのではないかなと私自身も思っております。また、JRと協力をして、新大阪からこちらに流れてくるような宣伝方法というのも幾つかあるのかなというふうに考えていますので、JRとの協力というのも考えていきたいなと思っております。

そういった大きなまちづくりの政策だけではなくて、今、話を聞いてなるほどなと思ったのは、先ほど栗田委員がおっしゃったような本当にかゆいところに手が届くような区政というんですか、出前講座でほんのちょっとパソコン教えてもらいたいとかそんなときに、こんな政策、あんな政策と大きなことだけ掲げていても、実は区民の方が要望しているというのはもっともっと身近なことなんだなというのを改めて実感をしました。先ほどの移動スーパーにしてもそうだなと思ったんですね。やはり住民生活に身近なことを、ぜひぜひ区としてももっともっとやっていただきたいなということを改めて感じましたので、大きなまちづくりから、それから身近な生活の視点に立った両方の視点から、新しい区政というのをこれから私自身も展開していきたいなというふうに考えております。

最後に、江川委員からご質問があった町会云々の話なんですけど、地活協との位置づけで町会中心というお話をさせていただいたので、決して、町会に入られていない方も現実たくさんいらっしゃいます、私自身も、いわゆるサイレントマジョリティーといいますか、町会に入られていない方たちもたくさん実は言いたいことがあるんだけど、なかなか日々言えずに黙ってらっしゃるという方もたくさんいるかと思えます、そういう方の意見というのも区としては実は、そういう方の意見をどうやったら吸い上げられるんだろうということで、SNSを使ったりとかいろんなことも担当部署のほうで考えて、意見も吸い上げようというふうに思っております。ですので、そういった方々の意見も吸い上げながら、幸せになれる区・都島区というのをぜひ私のほうでつくっていきたく思いますので、引き続き皆さんのご理解とご協力をいただければなというふうに思っております。

最後になりますが、今回、令和元年度の第1回の会議でありますけど、先ほどからお話がありましたように改選前の最後の会議ということになります。議長の森本委員をはじめ江川委員、それから田矢委員、そして本日欠席ではありますけど、辻上委員、それから東谷委員、田中委員におかれましては、本日で2期連続お務めいただいて任期満了という形になります。改めまして、長い間、区政会議にご尽力いただきましてありがとうございます。

以上で挨拶とさせていただきます。本日は、どうも皆さん、ありがとうございました。

#### 【六車課長】

それでは、以上をもちまして第1回都島区政会議を終了いたします。長時間にわたり、どうもありがとうございました。終了いたします。